（様式第３号）

変更計画に係る隣接土地所有者（または耕作者）の承諾書

◇ 事業計画者 〔 計画者名 〕が

◇ 事業目的 〔 計画内容 〕

を目的とした土地利用を行うため、農用地利用計画の変更を要望することに対して、計画地に隣接する土地の所有者（または耕作者）として、下記のとおり承諾します。

隣接地①	地 番		地 目		面 積	㎡
	所有者氏名					印※2
	所有者住所					
備考※1	（自己所有地の場合の記載例） ※自己所有地					
隣接地②	地 番		地 目		面 積	㎡
	所有者氏名					印
	所有者住所					
備 考	（所有者と耕作者が異なる場合の記載例） 令和△年△月△日、耕作者である○○ ○○氏に説明を行い、本計画については了承済み。					
隣接地③	地 番		地 目		面 積	㎡
	所有者氏名					印
	所有者住所					
備 考						
備 考						

自己所有地の場合は、所有者氏名及び所有者住所欄への記載は不要だが、備考欄に「※自己所有地」の記載を行う。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇
◇**隣接地の承諾がやむを得ず得られない場合は、農政課と事前協議が必要です。**◇
◇**協議後、承諾が得られない理由が妥当であると判断できる案件については、**◇
◇**別紙「承諾書が添付できない理由書」の様式をお渡しします。**◇
◇**なお、承諾が得られない理由に関して、事前に協議を了していない場合は、**◇
◇**同理由書が添付してある場合でも、手続きは不可とさせていただきます。**◇
◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

※1 所有者と耕作者が異なる場合には、備考欄にその旨を記載のうえ、耕作者の承諾も得ること。

※2 未相続や県外在住等の理由により、承諾を得ることが困難な場合は、別紙「承諾書が添付できない理由書」を提出すること。